

病害虫発生予察情報

8 月月報

平成 29 年 9 月 25 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2017 年 8 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	31.4	-0.4	23.5	0.4	26.8	-0.1	37.5	77	30.6	51
中旬	27.4	-4.0	21.9	-1.1	24.2	-2.4	76.5	125	6.8	12
下旬	31.9	1.0	23.4	0.9	27.3	1.2	3.0	4	50.5	86
平均	30.2	-1.1	22.9	0.3	26.1	-0.4				
合計							117	61	87.9	50

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上旬は平年並、中旬は低く、下旬は高かった。
- ◎ 降 水 量：上旬は平年並、中旬は多く、下旬は少なかった。
- ◎ 日照時間：上・下旬は少なく、中旬はかなり少なかった。

上旬：南からの湿った空気の影響を受け、また期間の後半は台風第 5 号が日本に接近・通過したため、曇りや雨の日が多くなった。

中旬：気圧の谷や東からの湿った空気の影響により、曇りや雨の日が多くなった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や湿った空気の影響により曇りや雨の日が多くなった。

2 作物生育概況

(1) イネ

出穂期にあたったが、遅延等は見られなかった。日照不足の影響により葉色が薄い傾向で、また、降雨が続いたため、結実への影響が懸念される。

(2) 野菜類

果菜類：抑制トマトは、節間がやや伸びる傾向にあるが、第一花房の着果は気温が低かったため良好である。ナスは日照不足の影響で、草勢がやや弱く、着花不良があり、収量はやや減少傾向であった。また、8 月上旬定植のハウス抑制キュウリでは生育がやや遅れた。

葉菜類：日照不足の影響でコマツナは 8 月下旬収穫で、収量低下がみられた。キャベツ、ブロッコリー等の苗の生育は概ね順調であったが、降雨が続いたため、一部で定植が遅れた。定植後の生育はおおむね順調であった。いも類：サトイモの生育はおおむね順調であった。

根菜類：ニンジンが発芽、生育ともおおむね良好であったが、一部で降雨により、種等が流される被害がみられた。

イモ類：サトイモの生育は順調であった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

ブドウ：

収穫始めは、‘高尾’で6日遅くなった。

‘高尾’収穫始 8月28日（+6日）

ナシ：

収穫始めは、‘幸水’で6日遅く、‘稲城’と‘秀玉’で1～4日早くなった。

‘幸水’収穫始 8月21日（+6日）

‘稲城’収穫始 8月23日（-1日）

‘秀玉’収穫始 8月23日（-4日）

(4) 茶樹

先月から雨が少なく生育に影響が出てきたが、8月の雨により、生育状況はほぼ平年並となった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヒメトビウンカ	< 多 >	発生は多かった。
セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
シンガレセンチュウ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

果樹共通

カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 多 >	発生は多かった。

チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。
(4) 野菜の病害虫		
キュウリ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
サトイモ		
ワタアブラムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや多 >	発生はやや多かった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カブラヤガ	< 並 >	発生は平年並であった。
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
(5) 花きの病害虫		
シクラメン		
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
(6) 植木の病害虫		
街路樹など		
モンクロシャチホコ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

御蔵島：サトイモでシロテンコウモリ幼虫の発生が多かった。

八丈島：アシタバでハダニ類の発生が多かった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	8月10日	9月7日	0	0
大田市場	8月10日	9月7日	0	0
板橋市場	8月10日	9月7日	0	0
淀橋市場	8月10日	9月7日	0	0
北足立青果市場	8月10日	9月7日	0	0
青梅青果市場	8月7日	9月5日	0	0
八王子北野市場	8月7日	9月5日	0	0
多摩ニュータウン市場	8月7日	9月5日	0	0
国立市場	8月7日	9月5日	0	0
東久留米市場	8月7日	9月5日	0	0

備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、大田市場で1頭、淀橋市場で1頭、青梅市場で2頭、東久留米市場で1頭のミスジミバエ雄が誘殺された。

病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。